

第 11 号では、本町通りを上がって、阿下喜の交差点にある左右の鉄柱の飾りについて触れた。実はその飾りは、八幡祭りが切り抜きされたものだ。神輿を担ぐ人が、ちょうど向き合った格好に飾られている▼6年生は卒業制作として、毎年「伊勢型紙」に取り組んでいる。切り抜きと伊勢型紙。先週、交差点で止まったので、いつものように八幡祭りのレリーフを眺めていた時にそれは思いついた▼あのレリーフには、きっとデザイン画か型紙があるはずだ。伊勢型紙に使えるのではないかと▼思い立ったら吉日。さっそく本校の生き字引、CS推進員さんに搜索を依頼して、あちこちに連絡を取ってもらったところ、ほぼ同時に2名の方から情報をいただき、昨日「原画」を譲っていただいた。搜索に協力していただいた多くの皆様、提供していただいた製作会社の社長様、本当にありがとうございます▼伊勢型紙のデザインは子どもがそれぞれたくさんから見本の中から選ぶ。既に選び終え、2時間だけ製作が始まっているが、3学期早々、子どもたちに紹介して、我こそは！と思う子がいたら、お願いしようと思っている。このデザインは、阿下喜の子しか選べない▼伊勢型紙について、もう一つあることを思いついた。ある先生が、「それ個人的にしたことがある！」と大賛成してくれた。いいねいいね。ただ、そのことを図工担当の先生には話せていない。